

京都市立上賀茂幼稚園

■教育目標及び経営方針（目指す子ども像・目指す教職員像・目指す幼稚園像）

◆教育目標 心豊かに いきいきと 心身ともに たくましく育つ子

◇育みたい資質・能力

「知識及び技能の基礎」

遊びや生活の中で、人やものと関わったり、ICT 機器を使用したりしながら、豊かな直接体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになる。

「思考力、判断力、表現力等の基礎」

遊びや生活の中で、人やものと関わり、興味や関心をもち、そこで気づいたことや考えたことを試したり工夫したり、表現したりする。

「学びに向かう力、人間性等」

遊びや生活の中で、ICT 機器も活用しながら、また、人と意見を交流しながら、自ら積極的に、より多くのことに興味・関心を持ち、進んで取り組もうとする。

◇目指す子ども像

- ・夢中になって、最後までやりきろうとする子ども
- ・感動したり、共感したりする心が育つ子ども
- ・自分の思いを言葉や体や ICT 機器を使って表現し、相手に伝えようとする子ども
- ・やさしさや思いやりの気持ちをもち、全ての生き物の命を大切にしようとする子ども
- ・様々な喜びや感動、困難や葛藤を繰り返しながら、最後まであきらめずにやり抜く子ども

◇目指す幼稚園像

- ・園児が楽しく、安心して通える幼稚園
- ・美しく、安全な保育環境が整えられた幼稚園
- ・保護者から信頼される幼稚園
- ・地域の心の拠り所となる幼稚園
- ・地域や関係機関との連携を大切にした幼稚園
- ・ICT 環境が整備され次代に適応した環境がある幼稚園
- ・地域の就学前施設や小学校と連携し、かけ橋期（5 歳児・小学校 1 年生）の子どもたちに学びや生活の基盤をつくる幼稚園

◇目指す教職員像

- 1.「すべては子どものために」を信条に、熱い思いをもち、初心を忘れず意欲的に教育活動を進める教職員
- 2.「自らが高まることは、子どもが高まること」を信条に、あらゆる機会をとらえて自己研鑽し、その成果を教育活動に生かそうとする教職員
- 3.「子どもにとてはどうか？」をすべての基本の考え方として、子ども一人一人の持つ力や可能性を引き出すために、保護者、地域と共に教育活動を進めようとする教職員
- 4.「整った教育環境は教育の出発点」として、美しい場づくりや保育環境・IC 機器の活用等の環境づくりに努める教職員
- 5.「教職員は子どものモデルである」を信条に、服装、態度、言葉使い等に気を配り、けじめをもつて活動し、社会人として、公務員として、自覚をもって生活する教職員
- 6.「かけ橋期の子どもたちに学びや生活の基盤をつくるために」地域の就学前施設や小学校と連携し、積極的に交流を進める教職員